明年は入國管理事務所を

橋本市長　記者会見で話す

留萌港の大拡充整備計画の構想ができたので近く発表したい

〝入国管理事務所留萌出張所は明年設置されることになろう〟〝かねてから構想をねつていた留萌港大拡張計画ができあがるので近く発表したい〟など、上京して帰つた橋本市長は記者会見で発表しました。

十二月十日から上京運輸大臣、建設省、開発庁など関係方面に、二区選出代議士とともに留萌市の県案事項を折衝し十六日帰留したものです。

折衝結果はおおよそ次の通りです。

■留萌港

三十八年度に完成予定の北岸船溜は、三十七年度に完成させる見通しがついたこれは、水中貯木場との結びつきを考慮したうえの措置でこのため一千万円の予算が追加されることになろう。

また、港湾関係者ばかりでなく市民の多くから要望されていた南岸壁の舗装は市の単独事業として行うことに決め千五百万円の補助を要求したが、ほぼ確定的である。

このほかは、当初の港湾整備計画通り進められるがこれによつて三十七年度の港湾予算総額は二億二千八百万円となる。

しかし、最近の海運事情から、先きに決めた港湾整備拡充年次計画では、追いつけない現実になつてきたか、ことし春以来これをかりみあわせた大拡充構想をねつていたが、近く完成しますので発表したい。

なお　計画の決定にあたつては市民の協力をあおぎたい。

■留萌川改修

三十六年度に三千八百万円の工事を行つたが、明年はこれを大巾に上まわるだろう。

この額は近く内示されるが、個所づけはその後になる。

■入国管理事務所の設置

入国管理局長に陳情したが、全国的に多いとはいえ留萌市の実情を認め、明年留萌市に出張所が設置されることは間違いない。

これによつて、貿易港としての公的な機関が全部そろうことになる。

■社会保険出張所

留萌市への設置は将来計画に入つているが、全国的に多いので、明年度設置という決定はないが、今後も努力を続けたい。

■北岸ローダー

一基増設する計画は当初からのものだが、多少時間をかけても引きつづき実現に運動を続けたい。

■中間駅

留萌線に地元の要望を入れ、中間駅を設けることはかねてから要望を続けていたが、これまで本省に陳情したことがなかつたので今回実情を説明しお願いしてきた。

11時には氣をつけろ

ねらつている5.5パーミリの黒い影

留萌市消防署の話によりますと、過去の統計からみた火災は午前十一時という発生が非常に多く昭和三十四年には六件、昭和三十五年には七件と、どの時間よりも多い発生ですしかし、これは十一時だから発生するというのではなく、この時間が一日のうちで一番注意がたりなくなる時だということを考えればうなづけることです。

つまり、常日頃からの注意が発生をなくするのです

ところが日本科学防火協会の調べで、留萌市の火災危険率は、全道一高く平均でも五、五パーミリと帯広の三・五倍、滝川の二・六倍も高い火災の危険にさらされていることになります。

とくに、その最高危険率は錦町地区の十二、〇六パーミリと、他の都市ではとても考えられないほどの危険さがあります。

これをうらづけるかのように、昭和三十四年には年内四十一件、昭和三十五年は年間四十五件の火災が発生ことしはすでに十一月までに四十七件（きよねんの十一月までは三十六件）もの火災が発生を上まわるのはもちろん、きよねんの同月までにくらべますと十一件も多く発生しています。

これらの火災は、火のとりあつかいが悪るかつたり設備が悪るいために起きたのはもちろんのこと、とくにめだつのは、人のいない建物から発生した不審火（六件）があることです。

それにつけても考えられることは、ひとり消防署の力や一部の市民だけでは、火事を防ぐことができないということです。

あいついで不審火の発生した錦町地区では、さつそく隣近所が一致協力して夜警をするなど、春日町やその他の地区でもこうした活動が続けられています。

とくにこれからの冬は火のとりあつかいが多くなるとともに、あわただしい年末年始かせまつてきますだけに、みなさまの注意が望まれてやみません。

×　×

あなたはいくら納めている

〝税金〟という名の嫌われもの

〝まつたく市の税金は高いナ〟と、年間二百五十円の均等割を納めている人もお酒をのんで七百円を払つたとき、〝安い〟といいます。

とかく税金は高いものときめてしまつている人が多いのですが、ほんとうに高いのでしようか。

とくに市の税金は、ほかのところと比らべて高いといわれていますが、けつしてそんなことはありません

市に納める税金は、市民税と固定資産税の二つがおもなものです。

固定資産税は、土地とか建物を持つている人に課税される税金ですが、市民税は一定の収入のある市民全部に課税されるものです。

とくに、市民税には、一率に課税される均等割二百五十円）実際に納めるときは三百五十円ですが、このうち百円は道民税として道に納められます）と、収入の多い人には、収入の割合いによつて課税される所得割額があります。

そこで、市税の姿をそれぞれにわけて、ながめてみましよう。

安い方から二番目　市民税均等割額

留萌市では、いま二百五十円です。（三百五十円と思われていますが、百円の道民税といつしよに納めていただいているのです）

道内二十七市のうち、留萌市の均等割は二十六番目にあり、留萌市の下には歌志内市の二百円があるだけもちろん留萌市と似た市としてあげられる紋別、士別稚内、名寄、網走、根室六市から比らべても安いのはとうぜんです。

これでも高いのだろうか　固定資産税

建物や土地の持つている人に納めていただく固定資産税は、それぞれの建物や土地が、これだけの価値があると決めた額）評価額といいます）に一定の割合で課税したものを納めていただいています。

しかし、実際に個人が建物や土地を売買するときはこの評価額よりも、かなり高い価格で行われていますのは、みなさんがよく知つておられる通りです。

そのような、固定資産税の基準になる評価額を、とくに留萌市と似ている六つの類似都市と比らべてみますと、建物（一坪当り）は紋別九千二百九十一円、網走九千百十六円、稚内八千八百十六円留萌七千五百二円名寄六千二百二十二円、士別四千三百七十二円（いずれも平均）と必らずしも高いとはいえません。

また、宅地一坪当りの最高評価額でさえ、網走三万五千円、紋別一万五千三百四十五円、士別一万二千円留萌一万一千円、名寄七千九百二十円（建物、土地とも根室は不明）となつていますから、固定資産税が高いというのは、あたりません。

合計してもこれだけ　一人平均の税額

さて、さきほどの市民税の説明の中で、均等割の説明はしましたが、所得割について説明しませんでしたこれは、各市とも所得割の課税方法がまち〳〵であるため、どれが高く、どれが安いと、かんたんに説明できなかつたからです。

しかし、この所得割だけをのぞいて、市税は安いといつても、まだ安心はできません。所得割が非常に高く、これらを全部あわせた税金が高くなることも考られるからです。

でも、安心してください市民税（均等割、所得割）固定資産税（建物、土地）をあわせた市税が、人口一人当りどれほどになるかを調べると、すぐわかるからです。

この額は留萌市が二千百六十四円で、全道二十七市のうちでは十九番目にあり類似六都市のどこと比らべても安い税金になつているのです。

つまり、網走三千九十二円、士別二千九百六十九円紋別二千八百二十三円、名寄二千六百六十九円、根室二千五百十八円、稚内二千三百五十四円という一人当りの市税で、留萌市より安いところといえば、ほとんどが炭砿都市となつています。

保険料の納入を早く

国民年金　未納では年金が出ません

国民年金の保険料は、毎月または年四回の納付期限（一、四、七、十の各月）までに、その前月分までの保険料を納付していただくことになつています。

しかし、まだ納付が遅れている方がおります。

保険料を納めることによつて、将来の老令年金はもちろんのこと、途中不幸があつたときに、障害、母子、遺児などの年金が受けられることになりますので、未納の方は早急に納入されるようお願いします。

なお、年度を越えたときは、印紙による納入ができなくなり、さらに延滞金などを納めていただくことにもなりますからご注意ください。

市役所保険課国民年金係に納入していただきますが、幌糠地区では、毎月十、二十日に幌糠支所で取り扱つていますのでご利用ください。納入するときは、年金手帳を必らずお持ちになつてください。

初の交付金を出す

四団体へ　街路灯設置補助金

明るい街づくりのため、市では街路灯の設置に、補助金を出すことにしていましたが、このほど四団体に第一回目の補助金を交付しました。

市では三十六年度から街路灯設置補助金交付規則をつくり、街路灯を設置したところには補助金を出すことにしていましたが、三十六年に四団体から補助金の交付申請があつたため、十二月二十八日、総額十四万六千円を交付しました。

交付団体名次の通り

寿会（吉川宗正）寿幸会（斎藤道忠）大通り会（板垣市郎）見晴町（石黒邦雄）

市長が年頭のあいさつ

〝市長さんが元旦にお宅へごあいさつに登場します〟といつても、これはラジオでのこと。

毎年ラジオを通じて行つている新春のあいさつを、ことしも行うことになりました。

例年の通り一月三日午前十一時五十分からNHK第一放送で行われます。

○―　○―